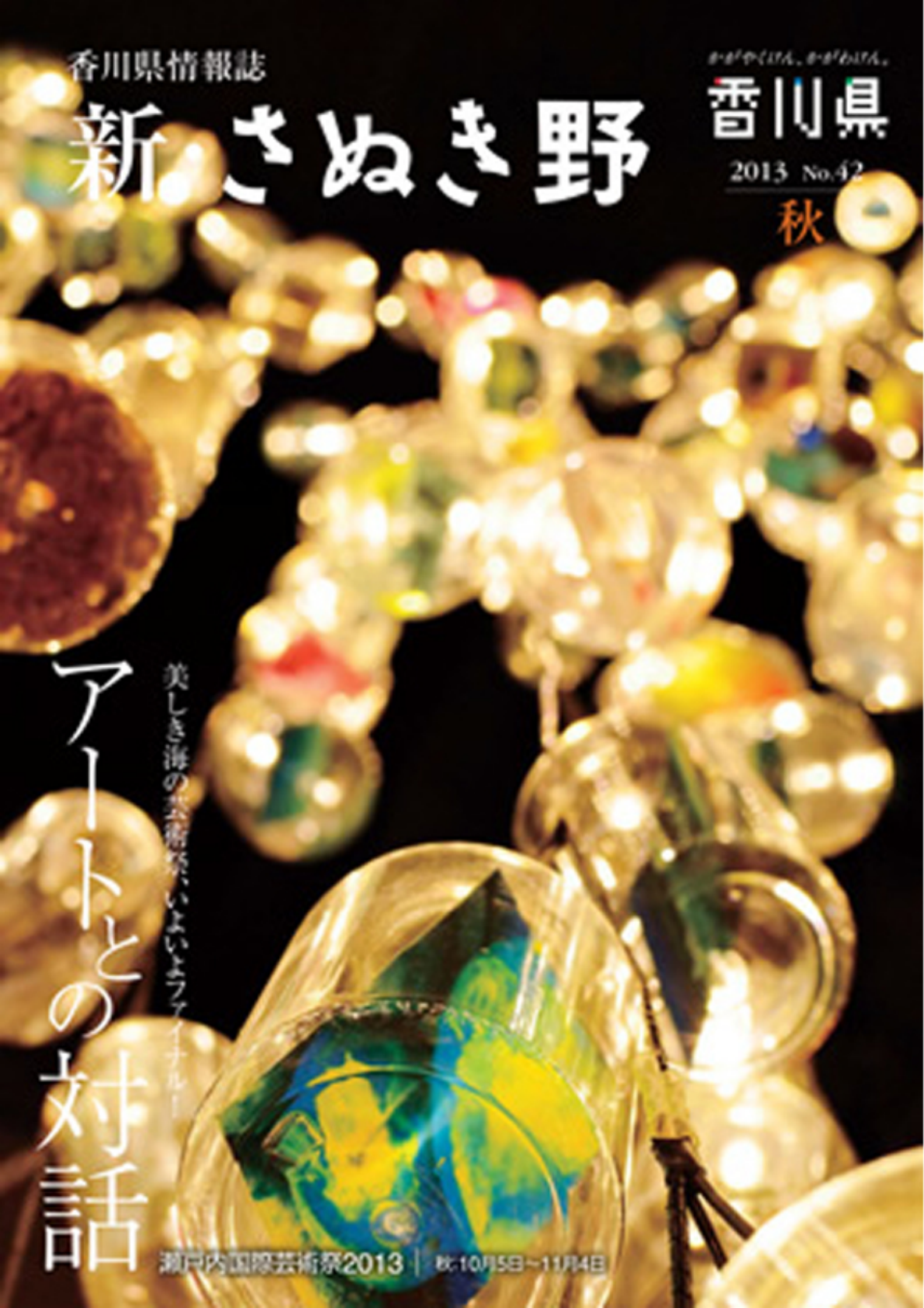


# 新・さぬき野



アートとの対話

美しき海の芸術祭「かがやきアートフェスティバル」

瀬戸内国際芸術祭2013 | 秋:10月5日~11月4日

香川の  
美術館を訪ねて



薩摩切子 紅色被屋  
たのし日本美術 セントリー美術館コレクション  
出品作品

## 博物館と美術館2つの顔を持つ 香川県立ミュージアム



JR高松駅、高松港から海の気配を感じながら歩くこと約10分。県立ミュージアムは、歴史博物館と美術館の両方の機能を併せ持つ施設。香川県の歴史や空海の業績をはじめ、猪熊弦一郎やイサム・ノグチなど県ゆかりの作家たちの作品を楽しむことができる。

10月5日(土)から11月17日(日)まで、瀬戸内国際芸術祭2013連携事業「たのしむ日本美術サントリー美術館コレクション」が開催される。つい構えてしまいがちな古美術の名品を「たのしむ」ことがコンセプト。数あるコレクションの中から絵画や陶磁器、漆器、和ガラスなど、四季や行事に合わせて使われることでその美が育まれてきた暮らしの道具や調度品約100点を展示する。子どもから大人までを対象としたワークショップや幼児限定観覧日などの関連行事も行われる。

香川県立ミュージアム  
高松市玉塚町5-5 TEL087-822-0002 <http://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/>  
月曜休館(月曜が祝日の場合は翌火曜)

## 香川情報誌 新・さぬき野 2013 秋 No.42

香川県に関する問い合わせ

香川県広報広聴課 〒760-8570 香川県高松市善町四丁目1-10 TEL087-832-3019  
香川県のホームページ <http://www.pref.kagawa.lg.jp/>  
新・さぬき野のページ <http://www.pref.kagawa.lg.jp/kocho/sanukino/> (電子ブック・スマートフォン版有り)  
香川県東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3都道府県会館9階 TEL03-5212-9100  
香川県大阪事務所 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-18-24クロスシティ心斎橋4階 TEL06-6281-1661



かがやくけん、かがむけん。  
香川県

# アート の 対 話

美しい瀬戸内海の島々を舞台に

開催されている現代アートの祭典、

瀬戸内国際芸術祭2013。

10月5日から始まる秋会期で、

いよいよファイナルを迎える。

過ぎゆく時の一瞬のきらめきのような

現代アートとの出会い。

アートと対峙しながら

私たちは知らず知らずに自分と向き合い、

自分の心と対話している。

過去、現在、そして未来に出合う旅。

自分の中に新しい何か生まれ、

何かが変わる。そんな旅が、ここにはある。

美しき海の芸術祭、  
いよいよファイナル!

瀬戸内国際芸術祭2013 | 秋:10月5日(土)~11月4日(月・休)

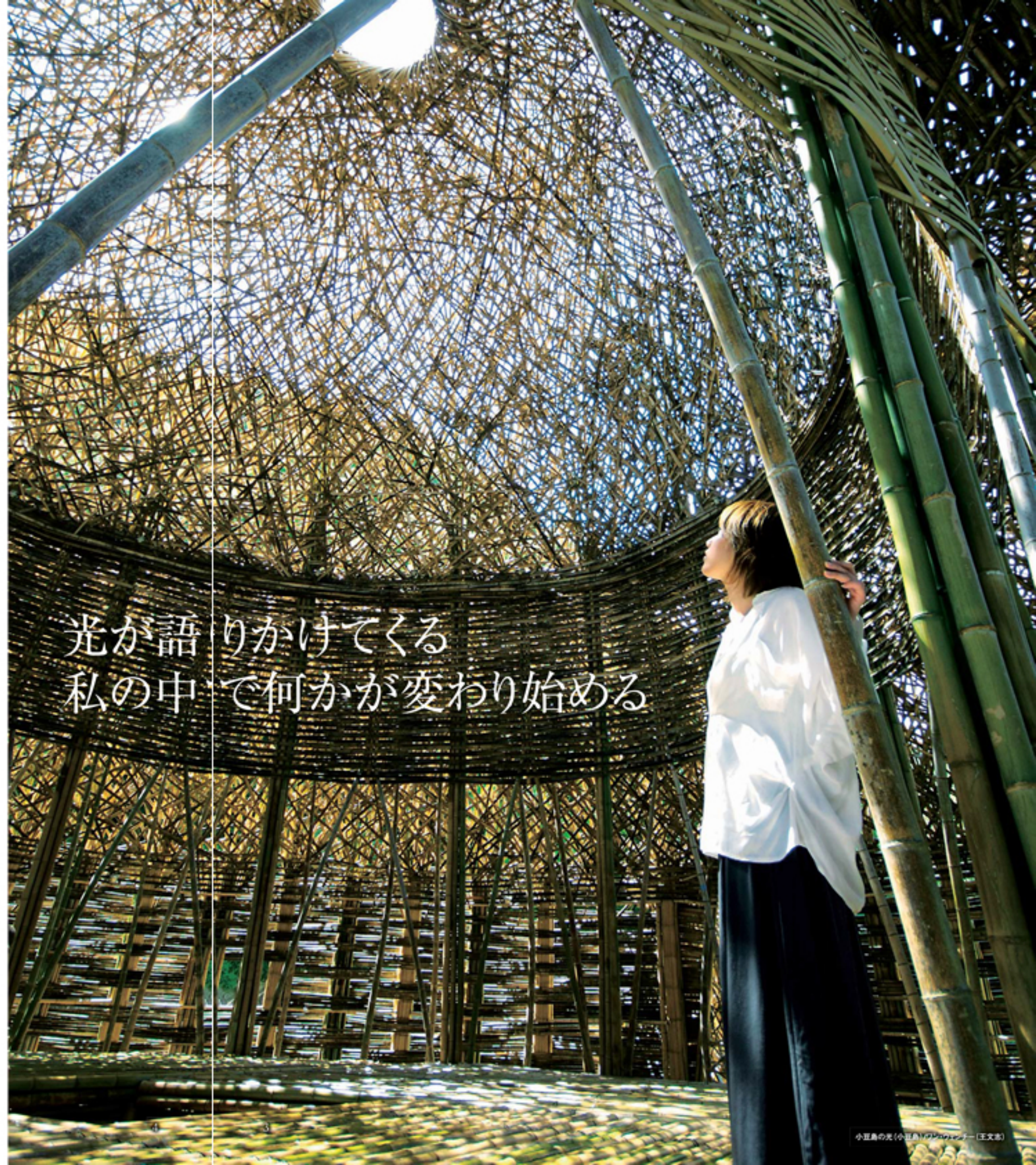
# アートと 対話の



島の風景や暮らしの中に点在する  
アート作品。その楽しみ方は、見ると  
いうより感じるという言葉がふさわ  
しい。手で触れ、素足で歩き、深呼吸  
する。体全体でアートを感ずる時間。  
日差しのように降り注いできたかと  
思うと、風のように一瞬で通り過ぎ  
る感情や感覚に、自分の中の何かが  
変わり始める。忘れていた大切な感  
覚がよみがえってくる。



坂道の途中で待っていたのは、  
知らない世界の入り口でした



光が語りかけてくる  
私の中で何かが変わり始める

# アーティストとの対話



KAHO  
in SETOUCHI TRIENNALE 2013  
MINAMI

瀬戸内国際芸術祭2013にアーティストとして参加されている南果歩さんに、浜田知事が舞台「人魚姫」についてお聞きしました。

—南さんと瀬戸内国際芸術祭との出会いについてお聞かせください。

南 瀬戸内国際芸術祭2010に観客として初めて犬島を訪れました。あいにくの天気でしたが、それがかえって精練所のインパクトを強くし

てくれました。翌日の豊島は快晴で緑の起伏がある地形がアートとマッチしてすてきでした。小豆島、女木島、男木島と3日間で5島巡りました。天候や自然がアート作品と調和して、本当に素晴らしいかったです。船の待ち時間や移動中に、さつき見たアートの作品を思い返したりして、ここだったら豊かな時間を過ごすことができると感じました。

—今回の瀬戸内国際芸術祭に参加するために企画書をご自分でお書きになってプレゼンテーションされたこと伺っています。

南 旅の帰りには、何らかの形で関われないかなと思っていました。演出家の小野寺修二さんにお話ししたところ、一緒にやろうと言ってくださって。自分で企画書を書き、瀬戸内国際芸術祭の総合ディレクターで

## その時、その瞬間に生まれる一期一会

ある北川フラムさんにお持ちしました。

—それが今回のパフォーマンスにつながっている訳ですね。なぜ「人魚姫」なのでしょう。

南 船の待ち時間に、海や山などの自然をバックに、ライブという動くアートを現場でもらおうと考えました。いろいろな人に見てもらおうので、皆さんがよくご存じのものがいいなと。舞台が海辺なので、アンデルセンの人魚姫を選びました。

—毎回、会場となる島を変えて行われるのもユニークです。

南 初めは同じ港でと思っていたのですが、北川フラムさんから毎回島を変えて上演してはとのご提案をいただきました。ジブシーのように、旅芸人のように、いろいろな島で上演するなんて、これこそなかなかできないことだと思いました。男木島と女木島もあんなに近いのに島の空気が違います。面白いですね。背景や場所が変わると、物語の動きも変わります。毎日変わるので、演

じていて新鮮でした。お客様もリピーターの方が多くて、観客の方にも毎回新鮮な気持ちでご覧いただけているのではないかと思います。

—秋会期に本島と栗島でも上演されるそうですね。

南 西の島は初めてなので、私も楽しみにしています。

—演じる南さんとしては「人魚姫」をどのように楽しんでほしいですか。

南 この劇は、自然の力が本当に大きいですね。私たちがやっているのは小さなことです。それぞれの人生と重なる瞬間を感じてほしいと思います。その時その瞬間に生まれる一期一会の出会いを楽しんでほしいのです。一瞬が確かなものならば、見た方の心にずっと生き続けるものになると思います。

—島を巡られて、島の人との交流や、思い出に残っていることなどありましたらお聞かせください。

南 2010年もそうでしたが、島の皆さんが島を訪れる人たちを

心から歓迎して下さっていることに感激します。まるで自分の家に来たかのように迎えてくれて、すてきですね。

—秋の瀬戸内国際芸術祭はいよいよファイナルシーズンです。いろいろなお客様と人魚姫のパフォーマンスを通じてすてきな出会いが生まれることを期待しています。また、南さんが感じた瀬戸内の良さをいろいろな方にお話しただければと思います。今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

—秋の瀬戸内国際芸術祭はいよいよファイナルシーズンです。いろいろなお客様と人魚姫のパフォーマンスを通じてすてきな出会いが生まれることを期待しています。また、南さんが感じた瀬戸内の良さをいろいろな方にお話しただければと思います。今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

南果歩×小野寺修二(カンパニーデラシネラ)  
「人魚姫」  
アンデルセンの童話「人魚姫」をベースに、カンパニーデラシネラの小野寺修二により演出、南果歩の主演で上演する。波打ち際の浜辺を舞台に、言葉と行為の関係を問い直す「フォーマンス」。

●10月5日(土) 本島(沿海水浴場)  
9時45分/14時30分/16時30分  
●10月6日(日) 栗島(西浜)  
9時50分/15時30分  
【お問い合わせ】  
瀬戸内国際芸術祭総合インフォメーションセンター  
TEL.087-813-2244



1984年に映画「傷つきのために」(小栗康平監督)のヒロイン役オーディションに合格し、映画デビュー。以後、第2回日刊スポーツ映画大賞助演女優賞、日本映画・テレビ制作者協会エランドール新人賞、第32回ブルーリボン賞助演女優賞を受賞。第19回高松映画祭最優秀助演女優賞を受賞。著書に「涙もまた、おぼろげな」、「瞬間幸福」がある。映画、テレビ、舞台、執筆など多方面で活躍中。



気がつくくと心は、  
海の底を漂っていた

花舟渡島(はなすわじま)の輪船(小豆島) 瀬田夏美



光の中に浮かびあがる、  
ほのかな記憶をたどって

記憶の灯(本島) 瀬田夏美  
美術と四作品



出会ったのは  
遠い日の自分、  
未来の私

美しく建てられて(高松・屋島) ルアン・トロ・エルリツヒ  
2005年に廃止になった屋島ケーブル山上駅をその  
まゝの状態アート作品に再生。大きな鏡とフェイク  
の影が新たな光をもたらす。

さつきまで聞こえていた人々のざわめきが消える。アートには、人々の心を一瞬にして捉える不思議な力がある。今、自分の目の前に存在するアート作品を見つめながら、心は想像というもう一つの時間を漂っている。見えない景色を見て、聞こえない音を聴く。ある人は記憶を旅し、ある人は未来を夢見る。言葉を超え、時空を超え、アートは人々の心に語りかけてくる。



瀬戸内国際芸術祭2013・秋  
ほんじま たかみじま あわしま  
本島・高見島・栗島

10月5日から開催の秋会期には、新たに本島、高見島、栗島の3島が加わる。塩飽水軍の本拠地として栄え、歴史的な町並みが残る本島。インドの先住民族サンタルの人々と共に、港近くで「New Port 青い香料」を展開する岩田草平さんは、「海を見ることがない彼らが、本島の漁業文化に触れ、島の人と触れ合うことで、何を思うのか。今回の作品は、彼らを通して本島の漁業文化を伝える作品です」と語る。本島の土を使い、彼ら独自の工法でつくられる家は今後、漁具の倉庫として活用される。会期中にはサンタル族の女性が倉庫の土壁に物語を描く過程を見ることが出来る。

「築100年以上たつ無人のこの家を見た時、ここに暮らしていた人の歴史や時間を感じました。島の人と話す中で、かつては多くの人が暮らしていた島の人口が、現在は数十人だけと聞きました。壁や天井に小さな穴を開け、そこからうっすらと入ってくる光でこの家の美しさを見つめてもらいながら、島の歴史や現状と向き合い、私たちはこれからどう生きていくのか。ここで一緒に考えていけたらと思います」と話してくれたのは中島伽耶子さん。高見島の廃屋を題材に「うつりかわりの家」を展開する。多度津港と高見島を結ぶフェリー「新なぎさ号」を作品の題材に選んだ西

山美なコさん。「初めて高見島を訪れたとき、この船の大きさを実感しました。芸術祭に来た人たちがきつとどんな島だろう、どんな作品と出合うだろうとわくわくしながら船に乗ることでしょう。島の方たちにとってもキニートアップされた船に乗ることが喜びになります。それが島に暮らす喜びにつながれると思います。この船が、島の方々と訪れる人々の交流の場になればうれしいですね」とほほ笑んだ。船乗りの歴史を持つ栗島でも、現在の島の歴史にちなんだ海にまつわる作品の制作が進行中だ。



新なぎさ号・キニートアップ作戦(高見島) 西山美なコ

船に乗り、島々に渡るという楽しさ、ほどよく残る島ならではの不便さ、思いがけない風景や人との出会いなど、たくさん思い出を人々の心に刻んだアートを巡る旅。会場となった島々では来場者とアーティスト、島の人たちの間にさまざまな交流が生まれた。現代アートの楽しさ、驚き、瀬戸内海の美しさを再発見した人々の笑顔は、春・夏会期を終え、秋会期へ。そして瀬戸内の未来へと受け継がれていく。



瀬田夏美さん

中島伽耶子さん

西山美なコさん



瀬戸内国際芸術祭2013

guest

# ミララリス

駐日オーストラリア大使



## 香川県知事 浜田恵造 対談

ブルース・ジェームス・ロス・ミラー 駐日オーストラリア大使  
シドニー出身。シドニー大学では日本語学、日本文化、歴史と法律の学士号を取得。1986年に外務貿易省に入省後、北東アジア部部長、在日オーストラリア大使館政務参事官を経て、2009年に内閣調査庁副長官に就任した。外交政策に豊かな経験と見識を持つ。2008年に瀬戸を訪れその後度々瀬戸内を訪れ、日本の現代美術に関する感性を深めるに至った。2011年より現職。

**知事** 瀬戸内国際芸術祭にオーストラリアのアーティストも参加くださり、この瀬戸内の素晴らしさを世界に発信していただいていることに感謝申し上げます。また、オーストラリア政府より多大なるご支援もいただき、ありがとうございます。

**ミラー大使** こちらこそ、芸術祭へ参加する機会をいただき心よりお礼申し上げます。また今日、丹下健三先生の作られたこの素晴らしい香川県庁舎を初めて訪れ案内していただき強い感銘を受けました。55年前に建てられたものですが、今でもモダンですね。当時も画期的な建物だったと思います。

**知事** 大使は大変な親日家とお伺いしています。ミラー大使 私は11歳の時、父から「アジアの言葉を勉強したらどうか」と勧められ、17歳の時、交換留学生として初めて日本を訪れ、私の人生が変わり、ぜひとも日本語、歴史、文化を勉強したいと思いました。1年間の留学中に初めて瀬戸内海を見て、また来たいと思っていました。以来、35年以上にわたり日本との関わりを持ち、延べ10

年以上日本で過ごしてきて、第二のふるさとだと思っています。瀬戸内は何度も訪れています。瀬戸内は世界中でも瀬戸内が特別な場所だと考えています。それは、日本の原風景を思い起こさせてくれる美しい自然と共に歴

## 美しい島そしてアート、

## 瀬戸内海は世界を魅了する

史や文化が残されているからだと思えます。

**知事** 大使は日本画にも造詣が深いと伺っております。金刀比羅宮では伊藤若冲、円山応挙などの作品に出合うことができます。こうした昔の美術家で印象に残っている方はいらっしゃいますか。

**ミラー大使** 江戸時代の画家では、伊藤若冲や、特に池大雅が好きです。実は面白いことに日本の文学や文化、美術を学ぶことで、あらためてオーストラリアの美術や現代アートに興味を持つようになりました。10年ほど前のことです。

**知事** なるほど。芸術祭では、現代アーティストと島の人々が交流し、一緒に参加しています。観光ではない交流が島の人を元気にし、そしてわれわれも元気にしてくれます。芸術祭を通じて、香川・瀬戸内の魅力を世界に発信することが世界とつながることだ

と考えています。

**ミラー大使** おっしゃる通りですね。日豪両国の強い関係を支えているのは、人と人とのつながりです。第1回目に引き続き、豊島で多くの地元の方々の協力を得て、オーストラリアの作家が作品を制作しました。春のオープンングでは、ご協力いただいた地元の皆さまに直接感謝の気持ちを伝えられました。観光であれ、留学であれ、アートであれ、人と人との交流が両国にとって最も大事なことだと思います。福武ハウスやバンクラダシユプロジェクトで、いろいろな国の方と出会え、香川が国際文化交流の拠点になっていきますね。

**知事** そういう意味で国際芸術祭という言葉が本物になると思っています。また、芸術祭という機会があることで、瀬戸内海の素晴らしさをあらためて感じることもできます。

**ミラー大使** オーストラリアから昨

年日本に21万人の観光客が来日しました。オーストラリアの人口からするとかなりの人数です。私は東京や京都だけでなく、ぜひこの素晴らしい瀬戸内海を訪れてほしいと、ことあるごと

に勧めています。直島をはじめ、独特の風景や文化を持っている瀬戸内海全体を見てほしいと。実は、春と夏の芸術祭にも個人的に何度か来ています。もちろん秋にも来たいと思っています。

**知事** ありがとうございます。香川県の美味しいさぬきうどんを長年支

えてくださっているのもオーストラリア産の小麦です。ぜひオーストラリアからのお客様を大勢お迎えしたいものです。今後とも日本とオーストラリア、香川県とオーストラリアの経済や文化を通じた友好関係が、うとんのよう

にたく強くなることを願っています。本日はありがとうございます。



懐かしいあの日に帰ろう

うどん県・

時間旅行物語

「うどん県」がまだ「香川県」だった昭和30～40年代、

多くの修学旅行生でにぎわっていた香川の観光地。

「うどん県・時間旅行物語」で、

昔訪れた「あの場所」へもう一度！

懐かしいあの日に帰るノスタルジィな旅に

出掛けてみませんか。



修学旅行生でにぎわっていた昭和30年～40年代の香川県。県内の観光地には途絶えることなく大型バスが訪れ、高松市のアーケード街は家族への土産を買い求める制服姿の若者たちであふれていた。

あれから数十年。あの頃、学生だった人たちに、そして初めて香川を旅するという人たちにも、懐かしくて新しい香川を楽しんでもらえる、時代を超えたおもてなしの旅「時間旅行物語」が始まっている。

旅の舞台は、かつて県内の主な修学旅行先であった金刀比羅宮、栗林公園、屋島をはじめとする県内各地。昔も今も多くの人が訪れ「こんびらさん」の愛称で親しまれている金刀比羅宮の門前町は「こんびら昭和劇場」に。駅前や参道、商店街が懐かしい昭和ヘタタイムスリップ。400年近い歴史を誇る江戸初期の回遊式大名庭園・栗林公園と国の史跡・高松城跡（玉藻公園）は「りつりん・たまも江戸劇場」となりお殿様気分が味わえる。源平合戦の古戦場として知られる屋島は「やしま源平劇場」と題し、源平にちなんだイベントが開催される。



こんびらさんの門前町は懐かし、あたたかい

昭和



天下の名園で味わう、江戸情緒

江戸



瀬戸の海は平安絵巻のロマンを秘めて

源平

「うどん県・時間旅行物語」12月1日(日)まで

こんびら昭和劇場

- こんびら昭和テアトル(懐かしの昭和の雑貨屋を再現) 毎日10:00～17:00
- 昭和の自動車展(懐かしい名車などを展示) 毎日10:00～17:00

りつりん・たまも江戸劇場

- 邦楽演奏(琴や尺八の音色で江戸情緒を演出) 毎週日曜10:00～14:00～ 栗林公園
- 和船運航(お船様気分舟遊び) 栗林公園 南湖周遊 9:00より30分おきに運航 玉藻公園 高松城跡内堀めぐり 9:30より30分おきに運航

やしま源平劇場

- 源平合戦ゆかりの武将や姫からなる「かがわ源平紅白キャラバン隊」公演 毎週土・日曜・祝 11:00～13:30～15:00～
- 源義経の虚像と実像展(忠臣蔵の英雄の実像に迫る) 10月5日(土)～11月10日(日) 9:00～17:00

他にも多彩なイベントを開催中

【お問い合わせ】香川県観光振興課 TEL087-832-3360

うどん県 時間旅行物語 検索

# 香川愛媛 せとうち旬彩館

KAGAWA EHIME  
SETOUCHI SHUN SAI KAN

東京・新橋アンテナショップ  
特産品、郷土料理、観光交流コーナーで  
香川の旬をぜひどうぞ。

注目はこれ!

## オリーブ商品、続々登場

生産量日本一、そして海外でも品質の良さが評価されている香川のオリーブ。収穫の最盛期である秋の到来とともに、旬彩館でもオリーブ商品が登場します。

**1F** 解禁日を待ち望むファンが多い「新漬け」は、緑色の若いオリーブを塩漬けたもの。ぷりっとかわいらしく、クセのない味に魅せられる人も多いとか。味も食べ方も漬物のようで、片手でつまんでポリポリかじって楽しめます。10月10日に解禁となり「特産品ショップ」で購入できます。その他、オイルやサイダーなどオリーブ関連商品も勢ぞろい。



オリーブ新漬け  
(10月10日解禁)

**2F** オリーブをエサに育った「オリーブハマチ」や「オリーブ牛」は2階の「かおりひめ」でそれぞれ漬け丼、コロッケ・肉じゃがとして味わえます。脂が乗った深い味わいがありながら、あと味はすっきり。食欲の秋にもってこいの香川の秋の味覚をご堪能いただけます。



オリーブハマチの  
漬け丼 (9月中下旬頃～)

【交通のご案内】  
○JR「新橋駅」銀座口から徒歩1分  
○東京メトロ銀座線「新橋駅」2番出口すぐ  
○ゆりかもめ/都営浅草線「新橋駅」から徒歩3分  
○都営大江戸線「汐留駅」から徒歩5分  
〒105-0004 東京都港区新橋2-19-10 新橋マリンビル1,2階  
http://www.setouchi-shunsaikan.com  
観光交流コーナー TEL03-3574-2028

## 〔東京で味わえる香川の恵み〕

香川の食材に東京で出会った。  
まずは東京で。次はぜひ本場、香川へ



## コクと旨味が凝縮 「讃岐コーチン・チキンソテー」

心地よい歯ごたえと、低脂肪・低カロリーのヘルシーな「讃岐コーチン」。実は全国でも有数の養鶏地、全国屈指の種鶏生産地である香川県で長い年月をかけて生まれた鶏肉です。ビタミンB1や旨味成分が他の鶏肉より多いという研究結果も出ています。

その「讃岐コーチン」のソテーがお客様に好評だと話して下さったのは、ビストロ「salon de Mentine」の前田オーナー。「かむほどにコク、旨味が出てくる深みのある味わい」と教えてくれました。有機野菜を使ったり、市場にも出向いたり食材とことんこだわる前田オーナーは、香川県の食材の産地巡りをして「真面目に真剣に取り組む生産者に出会い、高い技術力を感じた」そうです。オーナーの強い信念と、生産者のこだわりが相いれた瞬間だったのでしょうか。

香川県の自然も大変気に入ってくださり、香川のことを聞かれたら、どんな説明よりも「とにかく香川に行って体感してほしい」とおっしゃるとか。「あの瀬戸内海の島々、田んぼや豊かな自然は目からも癒され、



フラワーショップも併設。テラスで優雅にランチも。

ゆったりとした時間は言葉では伝わらない」とおっしゃる視線の先には瀬戸内海の景色がもう広がっているかのようでした。

【salon de Mentine】  
東京都目黒区八雲四丁目3-5  
TEL03-5731-0811  
http://www.mentine-t.com

### イベントのご紹介

## salon de Mentineも参加する 「さぬきうまいもん祭りin自由が丘」を開催

自由が丘エリアの飲食店で、香川県の食材を使った  
お薦めメニューを展開。

期間/11月1日(金)～30日(土)

参加店舗やメニューなどの詳細はHP  
http://www.kensanpin.org/jiyugaoka/で10月25日(金)から公開(予定)

## 「うどん県」、おかわりは「アート」 & 「時間旅行物語」

「香川県」が「うどん県」に改名して、3年目。「うどん県。それだけじゃない香川県」プロジェクトは、ますますバージョンアップしています。

この夏発表した新しい映像では、湯気が立つうどんの井をじっと見つめる要さん。バックに流れる「ダバダ〜」の音楽。そう、宮本重門さんがかつて出演したコーヒーCMのパロディーで映像はスタートします。要さんが「走り続けて3年目、もう腹へこです」「おかわりは「アート」と「時間旅行物語」と紹介。「アートは心のごちそう」ということで宮本重門さんの映像へと続き、「イサム・ノグチへの熱き思いと舞台」などの8本の映像で香川のアートを紹介しています。



時間旅行物語では、  
香川出身の俳優が老舗観光地を紹介



【お問い合わせ】  
香川県観光振興課 TEL087-832-3379  
映像はホームページでご覧いただけます http://www.my-kagawa.jp/udon-ken/

この秋、ご感想をお寄せください。

### 読者プレゼント

甘くてシャキシャキ、  
驚きの「太秋柿」  
抽選で5人に  
4キロ(3千円相当)を

大きくて、まるで梨のようなシャキシャキ感。酸度が高く、かむほどに果汁がふれるジューシーさ。サイズ、食感、甘味どれをとっても驚きを与えてくれる柿「太秋柿」。

香川県では、主に県内と首都圏に向けて9月中旬から出荷し始めます。食感のよさは一度口にすると思われず、出荷を待ち望むファンが多い珍しい柿です。

【応募方法】  
記載の①～⑤をメールまたは、はがきにて下記までお送りください。  
①本誌をどこで入手したか、②本誌についてのご感想、③気に入ったページ、④今後取り上げてほしい内容、⑤住所・氏名・年齢・電話番号

【応募先】メール/sanukino39@pref.kagawa.lg.jp  
はがき/〒760-8570(住所不要)  
香川県広域振興課「新・さぬき野」読者プレゼント係

【応募締切】平成25年10月10日(木)必着  
※当選者の発表は商品の発送をもって代させていただきます。  
※個人情報、賞品の発送以外の目的に使用することはありません。

## 「多島美」という言葉を、 心から実感(香川に移住)

「時々、瀬戸内海に沈む夕日を見ながら家でゆっくりとビールを飲む。この時間が一番のお気に入り」と教えてくれたのは、3年半前に香川に移住した小池よう子さん。毎日終電まで仕事をしていた東京での生活から一転、「人として本来あるべきサイクル」で日々暮らせる幸せを感じているそうです。



食農ライターや、食のコーディネーターとして「人と人をつなぐ仕事」を楽しむ小池さん

香川の第一印象は「意外に近い」こと。東京から飛行機なら1時間余りで着くことが一番の驚きだったと教えてくれました。毎日が発見だらけだった香川の生活もすっかり板について、今年「かがわ暮らし応援隊(仮)」の一員に。移住を考えている人にリアルな声を届け、移住をバックアップしています。



屋島からの夕景

「瀬戸内海のある穏やかな暮らし」は言葉ではなかなか伝わらない。でも屋島から瀬戸内海を見てもらったら「これがあなたの言っていたことなのね」とみんな納得してくれる。小池さんご自身、香川に来て初めて「多島美」という言葉を心から実感できたとおっしゃいます。

「かがわ暮らし応援隊」として香川と人を、そしてプライベートでも人と人を「つなぐ」ことで、温かく受け入れてくれた「香川への感謝」の気持ちを伝えたいと、優しい笑顔で語ってくれました。

※「かがわ暮らし応援隊」は、県からの委嘱を受け、ご自身の移住体験や香川暮らしの魅力や香川への移住を希望する方に伝える活動を行っています。

【お問い合わせ】  
香川県地域づくり推進室 TEL087-832-3125  
http://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/seekagawa/

## 力強く着実に成長していく経済社会を目指して 香川県産業成長戦略を策定

社会経済環境の変化に対応し、香川の経済を持続的に発展させるため、今年7月、戦略的な産業振興の指針として、「香川県産業成長戦略」を策定しました。

香川県ならではの地域資源などを生かした、新たな付加価値を生み出す成長産業を育成するための重点プロジェクトを中心に戦略を推進し、さらに元気な香川を目指します。

### 〈5つの重点プロジェクト〉

- ①「かがわ香少糖ホワイトパレー」
- ②オリーブ産業強化
- ③K-MIX関連産業育成
- ④ものづくり「温故知新」
- ⑤世界に発信「アートの香川」



オリーブ



香少糖



アート

【お問い合わせ】  
香川県産業政策課 TEL087-832-3349